# 各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

( 検索

#### 北の森づくり専門 学院の長期インタ ーンシップの実施





#### 【宗谷森林管理署】

令和3年8月23日(月)~9月10日(金)、 宗谷森林管理署管内で伐採と造林の一貫作業の事 業請負者である山栄産業株式会社が北の森づくり 専門学院(以下学院)生徒 1 名のインターンシッ プを受け入れ、各種作業の実践研修を実施しまし た。学院では長期インターンシップを2回実施し ており、1回目は、6月28日~7月16日まで の期間、道内各地の林業・木材産業関連企業にお いて行っています。この取組は、企業で一時的に 従事することで、実践的な能力の育成と実社会へ の適応力の向上を目的としており、生徒たちは、3 週間にわたるインターンシップを経験しながら自 分の適性を見つめ直すとともに、希望する就業環 境に合った企業への就職活動を進めています。当 署としては宗谷地域担い手確保推進協議会等を通 "将来の宗谷林業の担い手"となる人材確保 に向けた取組に今後も協力・支援をしていきます。

#### ニッカの森でアカエゾ マツの枝打ちを実施





#### 【石狩森林管理署】

令和3年9月4日(土)、秋晴れの中、ニッカウヰスキー北海道工場の方々が「小樽国有林のアカエゾマツ人工林(昭和53年植栽)」で森林保全活動を実施しました。石狩森林管理署ではニッカウヰスキー北海道工場と令和元年度に森林整備協定を締結しており、今年は3年目の活動となります。コロナ渦での緊急事態宣言中にも関わらず、外業での作業から密状態にならないとのことやマスク着用など防止対策を講じたうえで、北海道工場の職員11名が参加しました。

森林官から林内作業での注意事項を受け、早速、 枝打ちを行いました。日中は気温も 25 度以上と 汗ばむほどの陽気となり、持参のペットボトルで 水分を補給しながら、黙々と枝を落としていき、1 時間ほどで林内はすっきりしました。次年度も継 続して森林保全活動を実施していただく予定で す。

#### 砂坂海岸林(江差町) でグリーンスクール を開催しました





#### 【檜山森林管理署】

令和3年9月10日(金)、江差町水堀の砂坂海岸林にて、「江差北小学校グリーンスクール」を開催しました。このグリーンスクールは、砂坂海岸林の自然にふれ、動植物の生態や植生など自然の観察力を育む目的で、2003年に遊々の森協定を締結して以来開催しております。今年は児童34名と先生9名の参加で、1・2年生18名と、3・4年生16名に分かれて実施しました。

1・2年生は、森のスタンプラリーを実施。9箇所あるポイントを巡り、配られた地図にスタンプを押しゴールを目指すものです。3・4年生は海岸林内の展示館で、輪切りの木板・枝葉・端材などを使った軽工作を行いました。これらは、森林に対して親しみを持ってもらおうというプログラム「森の仲間たち」を実施。当日は天気に恵まれ児童の皆さんが元気にプログラムに取り組んでいました。

#### 占冠村 村有林でコン テナ苗植栽勉強会を 開催しました





#### 【上川南部森林管理署】

令和3年9月10日(金)、上川南部森林管理署では、占冠村と共同で同村ニニウの村有林において、カラマツコンテナ苗の植栽に係る勉強会を開催しました。コンテナ苗を活用した国庫補助事業による植栽は、上川南部地域の民有林では占冠村有林が初めてとなるため、翌週から始まる植栽作業の本番前に、同村林業振興室と当署が民間の林業事業体を対象に開催したものです。

当日は、この季節にしては直射日光がやや強く 感じる天候の下、林業事業体3名、占冠村2名、 当署5名の計10名で行いました。

はじめに占冠村の根本林業振興室長がコンテナ 苗を手に取り、メリットやデメリットの説明を行いました。当署からは、植栽適地の条件、植裁器具の特徴、植栽器具毎の作業方法の説明の後、林業 事業体の方に1人で植栽する場合と専属で穴掘りのみ、植栽のみをする場合での植栽を体験してもらい、作業効率の違いを実感してもらいました。

## 森moriカフェ~大人のための森林講座~

木づかい推進イベント

毎年10月は「木づかい推進月間」です(10月8日は「十と八」で「木」の日)。 "木のある生活"について、ゆるりと考えてみるイベントを開催します。

 $||8800 \sim ||9800$  $[9850 \sim 20850$ 

2回寒肺~入場。体驗ともに誤談

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮し、 事前申し込み制、1回につき、15名程度募集いたします。







### カフェメニュー

- ・森林の現状や林業についての基本情報
- ・木と日本人のつながりの歴史
- 木の良さを実感する
- 木を生活に取り入れる方法

※飲食のメニュー(提供)はございません

## 〈〈参加申し込みについて〉〉

令和3年10月1日(金)~15日(金)※定員に達し次第受付を終了します(1回15名程度)

下記の①~⑦の必要事項を記入し、メールでお送りください。

メールアドレス:h\_gijutsuhukyu@maff.go.jp 北海道森林管理局技術普及課 宛 ①氏名 ②性別 ③年齢 ④メールアドレス ⑤電話番号 ⑥住所 ⑦申し込みたい時間帯について(例:第1希望は2回目、第2希望は1回目)



HOKKAIDO

- ・電話番号は当日連絡の取れる番号(携帯電話等)を記載してください。
- ・記載いただいた個人情報は「森moriカフェ」に関するご連絡のため利用し、 目的以外では利用いたしません。

〈お問い合わせ先〉

林野庁北海道森林管理局 森林整備部 技術普及課 TEL: 011-622-524 https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/index.html



広報 「北の森林 国有林」10月号

発行 林野庁北海道森林管理局 編集 総務企画部 企画課

〒064-8537 札幌市中央区宮の森

3条7丁目70

I P電話 050-3160-6300

話 011-622-5213

F A X 011-622-5194

https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/

今月の木 「ナナカマド」 ナナカマドは北海道の森林の中で見ら れ街路樹として植えられています。秋に は美しく真っ赤に色づき実も紅く色づき ます。

ナナカマドのイラストを 表紙の月数字に載せました。